



www.kyoto-fukushi.org

社会福祉法人 京都福祉サービス協会

〒600-8127

京都市下京区河原町通五条下る梅湊町83番地の1
ひと・まち交流館京都4階

TEL 075-354-8745/FAX 075-354-8746





Together

Let's work with us.

Love the life you live.
Live the life you love.

-Bob Marley-



www.kyoto-fukushi.org

3年目の現在

廣瀬 明日香

修徳 特別養護老人ホーム
ケアワーカー
2014年4月 入職

自分を必要としてもらえる 誰かの役に立てる

身近だった仕事に就ける喜び >>>

母が京都福祉サービス協会でホームヘルパーをしていて、楽しそうに仕事の話をしてくれたので、私にとって介護職は身近に感じることでできる仕事でした。高校では理数系のクラスだったのですが、そのこともあり、大学を選ぶときに社会福祉を学べる学部を選びました。実習でお世話になったとき、とても丁寧にご指導してくださったこと、見学に行ったとき職員さんがご利用者に真摯に向き合っていた姿が印象的だったことなどが決め手となり、当協会に入りたいと思いました。

自分次第で成長できる環境 >>>

1・2年目の時に比べると少し余裕が出てきたので、一度外部の研修に出てみたいと思っています。今の職場では、ご利用者を看取る機会が多いのですが、あまり他施設のことを知らないのも、あらためて理解を深めたいなと。そういった意味でも、当協会は自分次第で学びや経験を増やせる環境でもありますね。また、大学時代の友達の話も聞いていて、ここに入ってよかったなと思っています。社会福祉法人として全国でも有数の事業規模で、組織的にもしっかりしています。何より素敵な先輩がたくさんいることをぜひ多くの人に知ってもらいたいです。

安心のフォロー体制・取り組み >>>

入職してすぐのころ、この仕事をする上で必要な知識を、施設配属前の新卒者全員に行われる1週間程度の導入研修で丁寧に教えて頂きました。配属後は現場でのOJTの取り組みとして「プリセプターシップ制度」があります。各施設に配属されてから最低3ヶ月間はプリセプターである指導上司が実践の指導教育をしてくれます。私の場合、最初の1ヶ月はプリセプターとユニットの副主任と面談する機会を設けていただきました。自分から積極的に話ができるタイプではないので、とてもありがたいことだなと感じていました。また人事考課制度もあります。年度初めに自分で目標を設定して上司と共有。半年後と1年後に達成できたかどうかと一緒に振り返りそれに対する評価を行います。目標を自分で設定することで毎日の業務に高い意識を持って取り組みますし、結果的にもそれがステップアップに繋がるのでとても良い制度だと感じています。研修や人事考課制度を通して、今の自分に必要なスキルを確認したり、スキルアップのためにどうすれば良いのかを考えたりすることができます。

ASUKA
HIROSE



KOSUKE
MATSUTANI

松谷 幸亮

本能 ショートステイ
生活相談員
2012年6月 入職

100%相手のことを考えて 行動できる仕事

生活相談員として >>>

最初はケアワーカーとして現場でご利用者の支援を行っていましたが、2年目が終わる頃に上司に生活相談員になりたいと相談したところ、その1年後にタイミングよくなることができました。希望や考えていることなどは聞いてもらいやすい雰囲気でした。自分で思っているだけでは周りの人も気づきにくいので、積極的に自分から伝えていくことが大切だと思います。現在は生活相談員として、ご家族の悩みにも触れ、一緒により良い在宅生活を考えていくことがやりがいです。

100%ご利用者・ご家族のために >>>

大学卒業後は一般企業に就職し、営業職として働いていました。一般企業なので、求められるのは数字やお金の部分。「100%相手のために思うことができているだろうか？」ということに疑問を抱くようになっていきました。そうした中でやりがいも感じなくなってしまいその会社を辞めよう…。相手のことをより深く考えながらできる仕事がしたいと思い、高齢者福祉施設に就職しました。純粋に相手のことを思う気持ちで取り組める仕事なので、心からやりがいを感じています。

自ら立ち上げた音楽サークル『アララ』>>>

2年ほど前に職場で音楽サークル『アララ』を立ち上げました。僕はもともと学生時代から音楽をやっていたのですが、他のメンバーはほぼ初心者でした。法人内の他施設へ演奏イベントで伺い、普段あまり喋る機会のないような方々とも接することができるので嬉しいです。中には演奏を聞いて涙を流してくれるご利用者もいるんですよ。「音楽の力がすごいなあ」とあらためて感じさせられる瞬間ですね。また、イベント後には「あの音楽やってた人やね」、「あのときの歌よかったー」など、よく話しかけていただけるようになったので、とても嬉しかったです。サークル活動は仕事のリフレッシュになります。同じ趣味の仲間も増えるだけでなく、社内コミュニケーションもスムーズに進むので、仕事もやりやすくなっていきました。みなさんも趣味など何か挑戦してみたいことがあればサークルをつくってみてはいかがでしょうか。もちろん、アララの新メンバーも募集中です！

5年目の現在



LIFE STYLE CLOSE UP

すべてのきっかけは ガールスカウトから

小学校4年生から参加しているガールスカウトが私のベースかもしれません。ガールスカウトの活動を通して、近所の老人ホームを慰問して歌を歌ったり、ダンスをしたり。地域の子もたちと協力しあって行動するという経験を重ねてきました。それらの活動を経て、高齢者との関わりに関心を持ちはじめ、「福祉の世界って素敵だなあ」と。気が付けば福祉業界をめざすようになっていました。はじめは社会福祉士をめざしていたため介護の現場で働く予定はなかったのですが、当協会と出会うなかで「いろんな経験を経て成長していくのもおもしろいかもしれない!」と思い、現在はデイサービスセンターで勤務しています。



日常の業務から、 学び、成長し続けていたい

介護の仕事は、座学で学ぶことが全てではありません。人を相手にしている仕事なので、日々、予測できないこと、楽しいこと、辛いことなどがたくさんあるので、普段のご利用者との関わりの中から、たくさんのご経験を吸収し、学び、成長していきたいですし、みなさんにもそうであってほしいと思います。その意味では、京都福祉サービス協会は施設の数が多いんです。いろんな人との交流がたくさんあるのが魅力ですね。年に数回ある懇親会などで他施設の人と関わることもできますよ。今後の目標は、社会福祉士の資格取得!資格が取れたら、高齢者に限定されない幅広い分野に関わることができる仕事に挑戦してみたいです。

1日のスケジュール

>>>

日勤の日

- 7:00 … 起床
- 8:30 … 出勤
- 12:00 … ご利用者と一緒に昼食
- 13:00 … 休憩
- 17:30 … 退勤

遅出の日

- 9:00 … 起床
- 9:30 … 朝食
- 11:00 … 出勤
- 15:30 … 休憩
- 20:00 … 退勤

休日

- 9:00 … 起床
- 10:00 … 朝食・炊事洗濯
- 12:30 … 昼食
- 13:00 … 食後のコーヒーを飲む
- 15:00 … 昼寝
- 18:00 … 夕食の準備
- 19:00 … 夕食・テレビを見る
- 21:00 … 入浴・眠くなるまでのんびりする
- 24:00 … 就寝

スポーツや芸術活動に 打ち込んだ学生時代

生まれも育ちも生粋の京都っ子。大学時代は福祉系ではなく、社会学部に在籍していました。当時の研究テーマは「楽しみ」について。というのも、僕自身、高校時代は吹奏楽部でトランペット、大学時代はジャズサークルでサクソフーンを演奏していたので、音楽に触れるなかで音楽を楽しんでいたんです。自分が楽しんでいた音楽やジャズについて、あらためて分析・考察したことで、より一層音楽が好きになったような気がします。振り返ってみると、学生時代は勉強とあわせて、スポーツや芸術活動に取り組んでいましたね。学校の部活動の傍ら、地域の道場で少林寺拳法にも取り組み、黒帯二段位を取得することもできました。あと、サッカーも好きで、京都サンガF・Cを昔から応援しています(笑)。



LIFE STYLE CLOSE UP



目標設定は 明確にするタイプです

座右の銘は「雑草魂」。実は、とても要領がわるく、他の人がすぐにはできることも3倍の労力をかけないと追いつかないタイプなんです(笑)。だから、時間や努力でカバーすることを大切にしています。とはいえ、物理的に時間をかけられないときもありますね。特に夜勤は、一人体制なことに加えて、イレギュラーなこともよく起こるんです。一つひとつのイレギュラーを自分で考えながら解決していかないといけないので、スピード感や効率を高めることも今後の目標に設定しています。また、昨年度チャレンジした「福祉住環境コーディネーター」の資格試験にあとわずかのところで落ちてしまったので、次回は合格をめざして勉強に励んでいきたいと思っています。

1日のスケジュール

>>>

早出の日

- 4:50 … 起床
- 5:30 … 家を出る
- 7:00 … 勤務開始
- 12:00 … 休憩
- 16:00 … 勤務終了
- 19:00 … 帰宅

- 20:00 … 夕食・テレビを見る
- 21:00 … 入浴
- 22:00 … 自由時間
- 22:50 … 就寝

休日

- 10:00 … 起床・朝食
- 10:30 … テレビを見る
- 14:00 … 昼食
- 14:30 … 外出・買い物
- 18:30 … 帰宅・入浴
- 19:00 … 夕食・テレビを見る
- 20:30 … 自由時間
- 22:00 … 就寝



井上 貴之

TAKAYUKI INOUE

修徳 特別養護老人ホーム
ケアワーカー
2015年4月入職(2年目)



MAIKO NAKATA

4年目の現在

中田 麻衣子

小川 特別養護老人ホーム
ケアワーカー
2013年4月 入職



何事も、ゼロからでも、 スタートできます

はじめの頃は… >>>

大学で介護に関する勉強もしていたのですが、介護士としての知識や経験はほとんどなく、ゼロからのスタートでした。プリセプターの先輩がすごく良い方で、今となっては「こんなこと聞いてたのか…!？」って自分で恥ずかしくなるようなことまで質問していました。ですがその先輩は嫌な顔一つせず親切に教えてくださったんです。今でもとっても感謝しています(笑)。

職場の人間関係 >>>

施設内の職員同士で仕事終わりに飲みに行くことや、休日に遊ぶこともよくあります。仕事で落ち込んだ時に、先輩から「今日ご飯食べに行こうか!」と誘ってもらったときはとても嬉しかったです。趣味は好きなアーティストのライブに行くことで、シフト制で休みの希望も前もって出せるので、人が少ない平日を狙って行けることも良さの一つではありますね。

能動的に自発的に >>>

会議などの場で自分の意見を言えるようになりました。今の状況を自分でよりよくしようと思うなら、絶対に発信していくべきだと思うんです。「これをもっとこうしたらよくなるんじゃないか?」と日頃から考えながら行動することの大切さを学びました。考えながら動く姿勢が身につけてきたので、今はひたすら実践あるのみですね。

プリセプターになってみて >>>

いざ教える立場になってみると、一から丁寧に指導しなければならぬというプレッシャーがわいてきます。でも、それと同時にあらためて自分の支援の仕方も見直す良い機会になりました。また、後輩の反応をみながら「あ、これ伝わってないな。こういうやり方だったら伝わるかな」というふうに、物事の伝達のしかたを工夫するようにもなりました。プリセプターになったときのほうが意外と学ぶことが多いんじゃないかなと思うくらいです。あと、プリセプターとの交換ノートもとてもいい取り組みだなと感じました。どうしてもその日話す時間がなかったり、直接言えないような内容はノートに書いてもらっていたので、これも伝達手法の一つとしてよく考えられたものだとか…。私にもできたんですから、何事も、ゼロからでも、スタートできます。少しずつでも大丈夫です。

たくさんの 「ありがとう」や「笑顔」に 日常的に触れられる場所

振り返ってみて >>>

この6年を振り返ってみて、一言でいうなら「本当にあっという間」だったということ。1・2年目のときは目の前のことをこなすだけで終わっていったような気がしています。3・4年目になり、後輩もできて、甘えられる立場でもなくなって、6年目にもなるともう中堅クラス。「これは川島さんだからお願いできる」と上司から仕事を頼まれることも増えました。もちろん任せられる裁量も増えた分だけ責任も大きくなりました。

辛い経験から見えてきたこと >>>

初めて担当をもたせていただいたご利用者が亡くなったときは、とてもショックで仕事へのやる気も失くしかけていました。そのとき先輩に「落ち込んでいるばかりではなく、今回できなかったことを次に活かすことが大事なんだ」と教えてもらいました。何もできなかった後悔より、試行錯誤しながら相手に寄り添うことが大切だと感じているので、今もそれを意識して続けています。亡くなるまでの一日一日、瞬間瞬間を大切に支援させていただくことが大切だと考えるようになりました。

指導する立場として >>>

不安や心配事、質問があるときは積極的に聞いてきてくれた方が「ここがわからないんだな」というのが率直にわかるのでとてもありがたいですね。一人で抱え込みやすい人や、あまり感情を出さない人だったら「何がわからないんだろう?」と思いながら指導を進めていくことになってしまうので…。まあそれでもやはり対人関係ですので、声をかけた時に大丈夫そうな返事が返ってきたとしても、その時の表情や声のトーンなどで自信がない場合はなんとなくわかります。業務中だと本当に忙しくてお互いに気を使ってしまうので、休憩時や仕事終わりに自分から声をかけるようにしています。

感謝のキモチを伝え合う素敵な仕事 >>>

入職する前は介護に関することは表面的にしか知らなかったのが、最初はとても不安でした。みなさんも最初はとても不安だと思います。介護となると、大変なイメージがあるかと思いますが、しんどいばかりではなく、ご利用者の笑顔に癒されたり、感謝の気持ちを伝え合ったりするととても素敵な仕事です。ご利用者が〇〇してくださった、笑顔になってくれた、というだけでも大きな喜びを感じられます。



6年目の現在

川島 優香

塔南の園 特別養護老人ホーム
ケアワーカー
2011年4月 入職

YUKA KAWASHIMA



数字で見る京都福祉サービス協会 (施設部門)

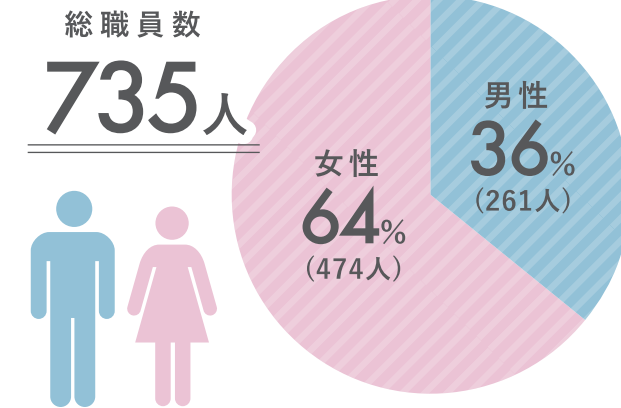
※平成29年1月31日時点でのデータです。

法人の主要
3部門

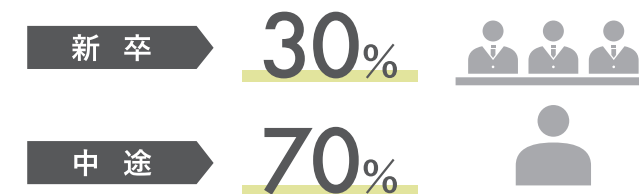
- 児童部門 37人
- 居宅部門 2,136人
- 施設部門 735人

右記は施設部門での
データとなります。

01 総職員の男女比率



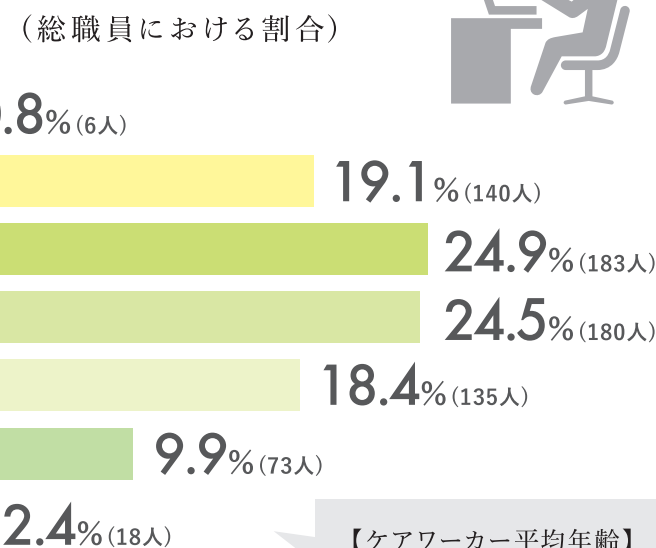
02 新卒・中途採用別の採用比率



03 正規職員比率



04 年齢構成



【ケアワーカー平均年齢】
正職員 … 36.3歳

05 夫婦で働いている職員の数



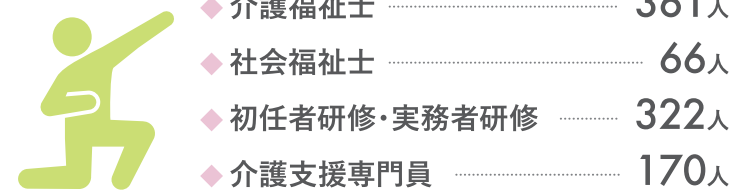
06 復職率 (産休・育休を取得した職員のうち、復職した割合)



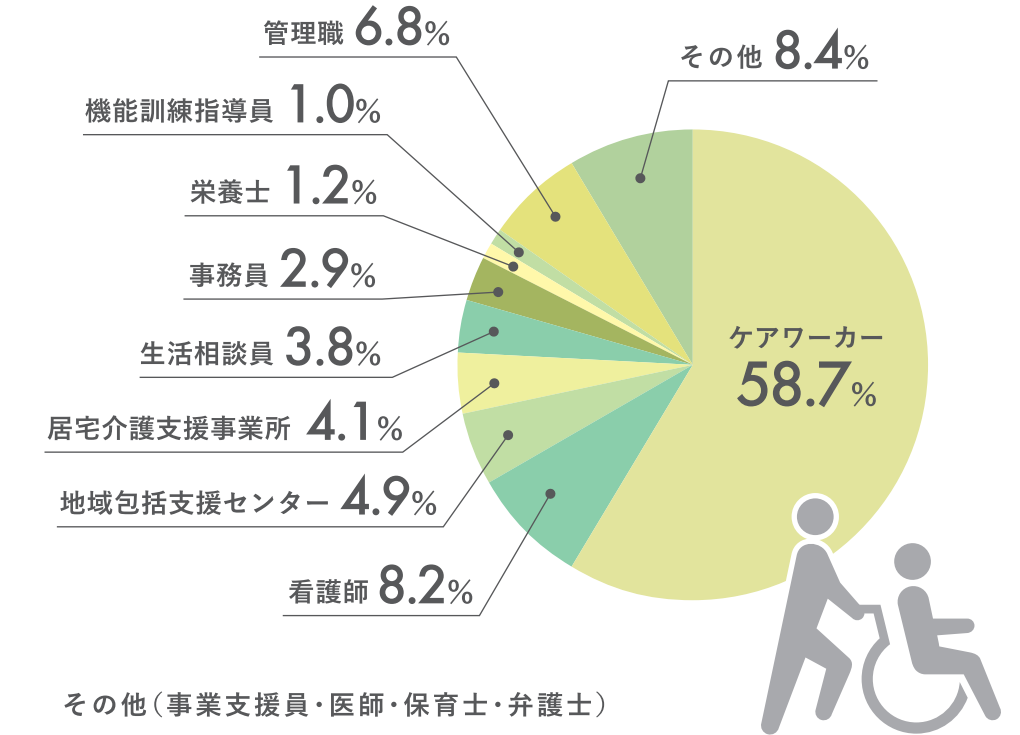
07 資格保有者数

総職員での集計

※複数資格取得者も重複してカウントしています。



08 各職種の職員全体での割合



09 新卒正職員の一人あたりの時間外勤務時間

